



先日、10/24（金）テーマ「もしかしたら、うちの子は**感覚過敏**？」について、
レモンの会を開催しました。

Q：お子さんの気になる感覚過敏は？

- ・食べ物好き嫌いやこだわりは、過敏さからきているのか…

今、好きな物…チョコパイ（一度に4つも食べる。）

味付けのりが好き、ずっと食べている。

焼肉（一人で20枚食べた）

白いご飯は、大好き。スープの具は、出して食べる。

なめこのみそ汁は、好き。

一つ好きになると、しばらくそればかり欲しがるため、たくさん購入し用意しておくが、ある日、突然、別の物を好み、たくさん買った物が残ってしまう。どんどん好きな物が変わっていくので、少し、困る。飽きるのかも…

（例：100%りんごジュース⇒急にぶどうジュース）

小学校の給食：食べれないものは、先生に「食べれません。」「少しにして下さい。」と言えば、残せる。本児は、「食べれないと言えと思う。」

☆本児には、値段が高くても本物の味を食べさせてあげたい。本物の味を知っておくことで、いつか食べれるようになってくれるかなあと思う。体重が減った時には、とにかく何でもいいので食べさせている。

本児のことで、今、気になっていることが…

注意しただけなのに、「怒られた!」と思ったり、友達が、たまたま身体を触ってしまっただけなのに、「たたいた!」「やめて〜!」と言ってしまうことが、食の心配より、小学校でお友達と上手くやっていけるか心配と胸の内の思いをお話して頂きました。レモンバームでの様子を伝え、共有出来ました。

感覚過敏の種類

- ・視覚（太陽がまぶしい・日当たりが良いと黒板が見えない・電球のチカチカが気になるなど）
- ・聴覚（特定の音が苦手・些細な物音が気になるなど）
- ・臭覚（特定のにおいが苦手など）

- ・味覚（決まった味を好む・特定のメーカーのりんごジュースしか飲まない・偏食とも関連 など）
- ・触覚（軽く触れられるだけでびっくりする・エアータオルの風が苦手・特定の素材の洋服しか着られないなど）

関わり方や支援方法について

- ① 子どもにとって不快な感覚が少なくなるように環境調整をする。
（例：聴覚過敏…不快な音の少ない環境になるよう周囲が配慮する。
視覚過敏…カーテンをひいて光量の調節をする）
- ② 防衛手段を持つ
（例：聴覚過敏…イヤーマフやノイズキャンセリングイヤホンを用いる。
触覚過敏…着られる素材のものを探す。
臭覚過敏…あらかじめ好みのアロマを用いる。）

〈参観された方からの感想をご紹介します！〉

- ・食事は、偏食が多いけど、少しは、いろんな物を食べれるようになったことをお話出来ました。やってないことをやられたと話すことが気になります。
（5歳児 女兒のおじいさん、おばあさん）
- ・子どもさんの様子が分かって良かったです。こだわりの対応も知れ、良かった。家族の考えも聞けて良かったです。（相談員さん）



相談員さんも初めて参加
「こういう会っていいですね～」
と言って頂きました。

次回のレモンの会 5回目

【土曜日…12月20日 療育時間にレモンの会を行いたいと考えています。】

テーマ：「集中して取り組めるようにするには？人との関わりが出来る子になるには？」

（例：「何をするにも、飽きてしまう。」「お友だちと一緒に遊べない。」などお話ししましょう。）